

産業・経済

農業と観光で稼ぐ・儲かる
経済都市ひとよし



「10年後の人吉」 平田 龍輝

(1) 農業の振興

現状と課題

我が国の農業・農村は、食料の安定的供給はもとより、地域社会の発展や国土・自然環境の保全、文化の伝承等といった重要な役割を担っています。

しかし、こうした役割や機能を持つ農業・農村を取り巻く情勢は、担い手不足・農業者の高齢化、これに伴う農地の減少・遊休化、農山村の過疎化・混住化の進行等の課題を抱えています。

近年の異常気象による農作物被害への対応や地球温暖化防止をはじめ、食の安全・安心確保の観点からも環境保全型農業への転換の必要性が高まっています。

さらに、耕作放棄地や有害鳥獣被害も年々増加の一途をたどっており、抜本的な対応が大きな課題となっています。

また、長引く景気低迷や農産物自由化等による農産物価格の低下に起因する農家所得の減少は、地域経済に大きな影響を及ぼしています。

このような中、生産から販売までの一貫体制の確立により、本市の農畜産物のブランド化を図り、農家所得の拡大を図る施策の展開が急務となっています。

- ・**混住化**…農業地域で虫食いの住宅開発が進み、農家でも兼業化・非農家化が進むことで、農地と住宅地が混在する状況
- ・**環境保全型農業**…農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業

施策の目的

個別経営や集落営農における農業の担い手を育成・確保し、意欲ある農家へ農地を集積していくことで、農業と地域を再生させ、農山村に暮らす人々が将来に向けて明るい展望を持って生きていける環境づくりを進めていくとともに、環境の保全や美しい景観等の農業・農村の多面的機能を確保していきます。

また、地域の現状を打開するために、「農業で食べられるまち」を目指し、健康を機軸とした農産物ブランド化による農業振興を図る目的で、平成20年3月に「人吉市農産物ブランド化基本構想」を策定しました。今後は、地産地消を基本としつつ、人吉独自の自然環境や地域資源を都市部など他地域にアピールしながら販路の拡大を図っていきます。また、地球温暖化防止や食の安全・安心を図る上で、今後とも関係機関と連携しながら有機農業など環境保全型農業の推進をより一層図っていきます。

農業と観光で稼ぐ・儲かる経済都市ひとよし

成果指標

成果指標	現在値	目標値(Ｈ27年度)
認定農業者数	70 経営体(うち法人 12)	73 経営体(うち法人 14)
集落営農組織	3 団体	5 団体
利用権設定面積及び農地保有合理化事業における売買面積	50ha	53ha

- ・**認定農業者**…農業者が、経営を計画的に改善するために農業経営改善計画を作成し、市町村から認定を受けた農業者。国や県、市町村等から様々な支援を受けることができる
- ・**利用権設定**…農業経営基盤強化促進法に基づき、規模拡大を志向する認定農業者等へ農用地等の利用集積を行うための手続き
- ・**農地保有合理化事業**…離農農家や規模縮小農家等から農地を買入れ・借入れを行い、規模拡大による経営の安定を図ろうとする農業者に対して、農地を効率的に利用できるよう調整した上で、農地の売渡しや貸付けを行う事業

詳細施策

主要な事務事業

事業概要

農畜産物のブランド化	●健康農産物ブランド化推進事業	健康農産物ブランド化基本構想の下に、農産物の生産振興と販売促進を図る事業
	●農産物販路拡大事業	農家の所得向上を目的とし、人吉・球磨産農産物の販路確保・拡大を図る事業
	●農業活性化対策事業	農業関連に必要な条件整備等についての経費の一部助成を行う事業
	●受精卵移植推進事業	牛の改良、増殖を推進するため、受精卵移植の技術向上・普及定着を図る事業
	●子牛保留奨励事業	優良繁殖雌牛を保留して資質の改善を図る事業
	●農協有等家畜導入事業	牛の増頭のため、農協の貸付制度を利用して肉用牛を導入された農家に対して行う貸付事業
	●ＪＡ連携による東京での人吉フェア事業	関東圏における人吉・球磨産農産物や物産の販売促進を目的とした事業
農地の保全・活用	●中山間地域等直接支払い事業	中山間地域等における農業の多面的機能を維持する事業
	●農業者戸別所得補償事業	販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付し、農業経営安定や食料自給率向上を目指す事業
	●担い手対策事業	認定農業者、集落営農、新規就農者等農業の担い手に対して、各種支援を行う事業
	●環境保全型農業直接支援対策事業	地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援を行う事業
	●農業経営基盤強化促進法事務事業	効率的かつ安定的な農業経営の育成を図るため、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対して、農業経営基盤等の強化を促進するための事業
生産基盤整備の推進	●国営川辺川総合土地改良事業	球磨北部地域の安定的な農業用水の確保とほ場の整備を行う事業
	●市単独農道・農業用排水路事業	老朽化した農業用施設(農道・用水路・排水路)の工事を行う事業
	●農地・水・環境保全向上対策事業(共同活動)	農業者を中心とする地域住民が、地域内の農地や水路等の資源保全(草刈、花植え等)の活動を実施する事業

(2) 商工業の振興

現状と課題

日本経済は、平成 20 年 9 月のリーマン・ショックに続いて、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により、足踏み状態に陥っています。加えて、福島県の原子力発電所事故による電力不足に伴う企業の生産活動の縮小と風評被害が経済に暗い影を落としています。緩やかに景気回復が続けると見込まれていますが、円高や海外経済の減速等、懸念材料もあり、注視していく必要があります。

本市の商工業を支える中小企業においては、停滞した日本経済の影響を受け、依然厳しい環境におかれています。グローバルな競争の中にあり、これまで以上に個性化、ブランド化など商品の魅力・付加価値の向上と、さらなる経営革新、創意工夫が求められています。

施策の目的

本市の商工業を支える中小企業は、迅速な対応と行動力、経営者の絶え間ない努力により、地域や暮らしを支え、地方経済の牽引役として地域振興に大きく貢献してきました。

地域経済を担う中小企業等がその役割を果たしながら、さらなる発展を遂げていくためには、「人・もの・カネ」といった経営資源を確保し、経営安定を図る支援体制を充実させる必要があります。厳しい経営環境の中、中小企業大学校人吉校を活用した人材育成や、商工会議所をはじめとする関係各団体等と連携し、一体となって、地域の発展と商工業の繁栄を目指した経営指導並びに経営支援等を積極的に展開していきます。

また、本市特有の物産品については、これまで以上に球磨焼酎のブランド化と販路拡大に努め、さらに自然、歴史、文化に育まれた魅力ある物産・特産品の掘り起こしや農商工連携を図ることによって、地域資源を最大限に活用する「ものづくりのまち」を目指します。

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
小売業・卸売業の商店数	640 店	600 店
小売業・卸売業の従業員数	4,011 人	4,000 人
小売業・卸売業の年間消費販売額	723 億円	700 億円

※現在値は、熊本県商業統計調査結果から

主要な事務事業	事業概要
●商工業振興事業	商工業を育成及び振興するための補助金・助成金交付事業
●地場産業振興事業	商工業団体に対して交付する活動費補助事業
●中小企業経営基盤強化事業	中小企業の経営安定に資する金融優遇制度事業
●中小企業人材育成事業	従業員の人材育成に必要な経費の一部を補助する事業
●昭和の人吉温泉郷、街並みの復活事業 (人吉七町)	昭和をテーマとした公衆温泉及び空き店舗の活用による賑わい創出とその修景事業



■球磨川と人吉球磨の恵まれた風土が育んできた球磨焼酎

(3) 企業誘致の推進

現状と課題

日本経済は、リーマン・ショックに端を発した世界同時不況という逆風を経験し、一時期は回復の兆しも見えたところですが、今般の東日本大震災という未曾有の震災により、さらに大きな打撃を受けたところです。

一方で、少子・高齢化といった社会的要因がもたらす生産年齢人口の減少により、生産・消費・雇用等の多方面における需給関係にアンバランスが生じてきているところであり、地域経済は厳しさを増すばかりです。

人吉球磨管内の有効求人倍率は、県内でも最低の水準で推移しており、雇用の確保は喫緊の課題となっています。

また、高齢化は急速に進む一方で、新卒の若い労働力は域外へとその多くが流失するような状況の中で、地域経済を支えるべき世代人口が減少傾向にあることは否めない事実です。

働く場の確保と域内での消費人口の増加が、今後の地域経済の活性化には必要不可欠になります。

・生産年齢人口…年齢別人口のうち労働力の中核をなす 15 歳以上 65 歳未満の人口層のこと

施策の目的

企業誘致は、雇用の場の確保と域内経済の振興、そして税源涵養^{かんよう}につながるものであり、地域経済への波及効果は極めて大きいものがあります。この地域に住み、生活をするためには、この地域に働く場があることが何より重要です。

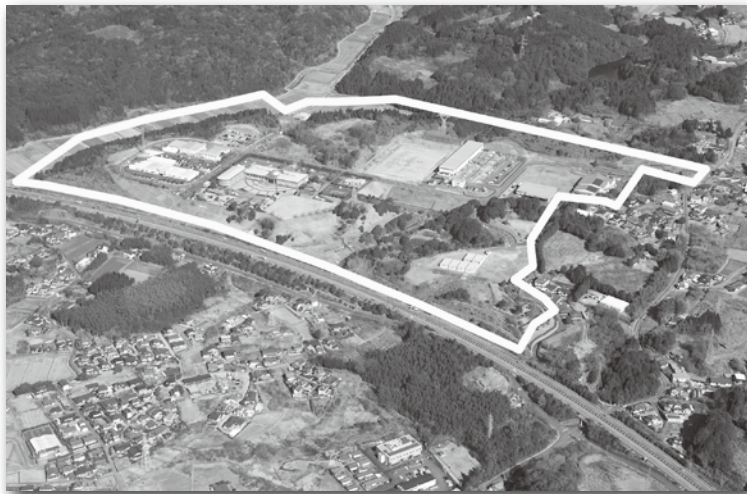
現在、造成済みの梢山工業団地においては、立地可能な区画が残り 1 区画となっており、積極的な企業誘致活動を展開することによって、早期の企業立地を推進していきます。

また、これから整備を行う人吉中核工業用地については、1 日でも早い企業立地の環境整備に努めるとともに、県内でも有数の大規模な工業用地として多くの雇用が創出できるようなマザー工場的な企業の誘致を目指します。

成果指標

成果指標	現在値	目標値（H27年度）
梢山工業団地の企業立地	残り1区画	残り1区画への企業立地
人吉中核工業用地の立地環境整備	*	整備完了
人吉中核工業用地のマザー工場等の誘致	*	誘致による立地協定の締結

主要な事務事業	事業概要
●企業誘致推進事業	企業誘致を図るための情報収集・企業訪問等事業
●人吉中核工業用地造成事業	大規模な工業用地の造成に向けた法手続及び造成のための設計・施工等事業
●梢山工業団地管理事業	梢山工業団地を適正に維持管理する事業



■梢山工業団地



■人吉中核工業用地

(4)雇用対策の推進

現状と課題

雇用情勢は、経済情勢と密接な関係にあり、景気減速により、雇用は好転しない厳しい状況が続いています。加えて、円高等を背景に大企業は海外市場の開拓、労働力確保等を目的として海外移転を進めており、全国的に有効求人倍率は低迷を続けています。

平成 23 年度の人吉球磨管内の新規学卒予定者は 868 人で、うち就職希望者は 353 人となっていますが、求人数は 88 人に止まっています。毎年、大勢の人口流出が続いており、加えて少子高齢化も要因となり労働人口が減少するなど厳しい現状におかれています。

経済の活性化及び地場関係者の創意工夫や発想を活かした雇用機会の増大と新たな雇用を生み出す企業誘致が強く求められています。

施策の目的

働くことは、人としての暮らしを支え、その賃金の消費により経済活動を牽引し、また、人としての生きがいにもつながっていきます。そのため、雇用の場を確保することは国家としての大きな課題のひとつです。

平成 21 年度にふるさと雇用再生特別基金と緊急雇用創出基金が設立され、基金事業を実施したことで多くの雇用が生まれました。引き続き、基金事業の延長または国の新たな支援制度を要望するとともに、本市独自の雇用創出事業を継続実施し、雇用の確保を図ります。

また、雇用の場を守るため、地場企業の育成及び支援を図るとともに、公共職業安定所や人吉球磨雇用対策協議会と連携し、求職者に対し求人情報を適宜提供できるような環境整備を図りながら、新たな雇用を創出する企業誘致についても全力を傾注することによって推進していきます。

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
人吉球磨管内の有効求人倍率	39%	60%

・有効求人倍率…求職者数に対して、求人を募集している企業からの求人数の割合

主要な事務事業	事業概要
●(緊急)雇用対策事業	県基金及び市費を財源とした1年間を期限とする臨時雇用事業



■高校生と企業人の交流会

(5) 林業・林産業の振興

現状と課題

本市の森林面積は 15,883ha であり、本市の全体面積 21,048ha の約 75%を占めています。

全国的に林業従事者の減少、高齢化及び後継者不足が続いている状況の中、本市においても林業生産を継続するための人材の確保が求められています。

また、本市の森林は、戦後植林した人工林資源が利用可能な段階に入りつつありますが、路網整備や施業の集約化の遅れ等から生産性が低く、材価も低迷していることから、森林所有者の林業への関心は年々低下してきています。また、相続等により自らの所有すら意識しない森林所有者の増加が懸念され、森林の適正な管理に支障を来たすことが危惧される状況にあります。

このような状況を踏まえ、本市では路網整備の拡大を行うことによって、生産性の向上及び未整備森林の減少を今後図っていく必要があります。

・路網…林道及び作業道のこと

施策の目的

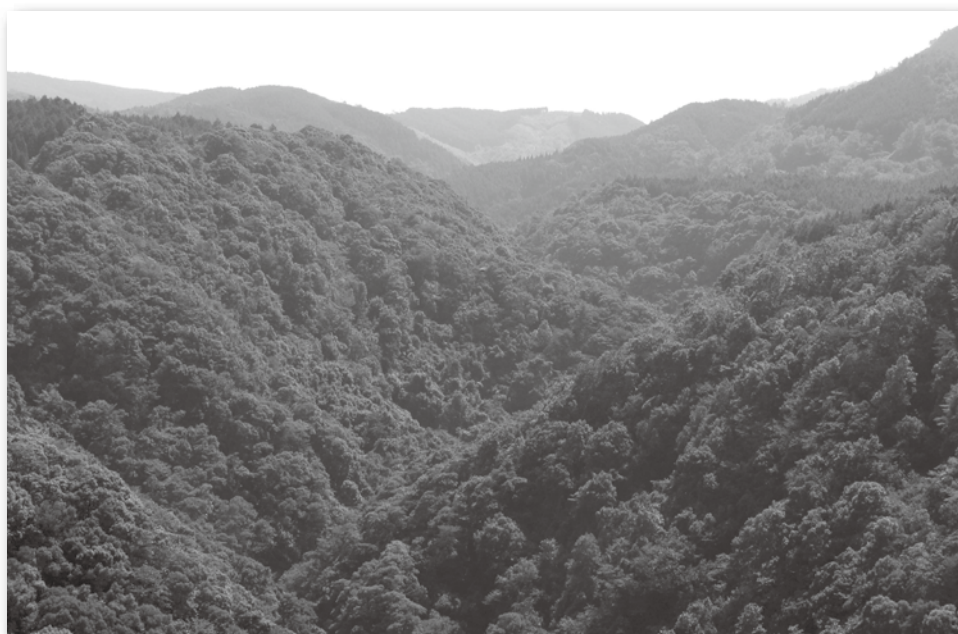
森林の持つ公益的機能の維持と森林資源の循環利用を図るため、地域の特性や森林の形態に応じた適切な森林整備を進める等、長期的な視点での健全な森林整備の保全に取り組み、また、林業の活性化を図る等、魅力ある林業・林産業が実現できるまちを目指します。

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
路網密度	20.1m/ha	22.2m/ha
民有林面積	10,133ha	10,133ha
路網延長	204,037m	225,000m
未整備率	49%	39%
民有人工林面積	6,859ha	7,000ha
未整備面積	3,394ha	2,730ha

・未整備率…人工林において、間伐等の整備を行っていない割合のこと

主要な事務事業	事業概要
●市有林整備事業	市有林の整備(間伐、枝打ち、新植、下刈等)を行う事業
●素材生産販売委託事業	市有林における間伐材等の委託販売を行う事業
●林道等維持補修事業	林道・作業道の維持及び補修を行う事業
●有害鳥獣対策事業	有害鳥獣(シカ、サル、カラス等)の適正管理を行う事業



■大野溪谷の山々

(6)おもてなしの心による観光と交流

現状と課題

日本を取り巻く社会経済環境は、本格的な人口減少、高齢化社会の到来等、様々な状況がある中、将来にわたって持続可能な国づくりを進めるため、地域経済の活性化、雇用機会の創出、国際相互理解の増進等に資する観光立国の実現にかかる期待は大きく、今後の成長戦略の柱として、ますます観光振興事業の取組の強化が求められています。

本市においても、経済浮揚策のひとつの柱として、「観光で食べられるまち」を掲げ、観光振興に関し、各種イベントの企画運営や情報発信により、人吉観光のPRを行っています。また、本市及び球磨地域には、相良 700 年の歴史による歴史・文化・自然環境や温泉・球磨焼酎等の地域資源が集まっています。これらを多様化する観光ニーズに活用することによって、同時に情報発信を効果的に行うとともに、魅力ある観光地を形成することが大きな課題となっております。

今後、魅力ある観光のまちにするためにも、観光に関連する団体・企業・事業者をはじめ地域住民が連携し、この地域に存在する観光素材を掘り起こしながら磨き上げることにより、癒しや感動を与えることができるという認識のもと、多くの観光客を「おもてなしの心」で温かく迎え入れるまちづくりを推進する必要があります。

施策の目的

観光による交流人口の増加は、産業・雇用を創出するとともに、地域の活性化に寄与するものです。

本市の観光振興を進めながら、多様化する観光ニーズに対応するため、魅力ある観光地づくりに努め、まちづくりとともに人吉球磨地域全体での着地型広域観光を今まで以上に推進することによって、祭りやイベントをはじめとした各種観光事業を展開していきます。



■観光客に人気のラフティング

農業と観光で稼ぐ・儲かる経済都市ひとよし

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
観光客入り込み数	約 97 万人	120 万人
目標観光消費額	約 93.7 億円	116 億円

- ・観光客入り込み数…観光のため地域に訪れた来訪客の数
- ・観光消費額…旅行期間中に、旅行・観光活動のために観光客が観光地において行う消費金額、交通、宿泊、飲食、みやげ、娯楽等の消費金額

詳細施策	主要な事務事業	事業概要
観光基盤整備と観光誘客の推進	●観光施設整備事業	観光施設の整備や維持管理及び観光案内板を整備することで、日本国内外の観光客におもてなしをアピールし、リピーターを増やすことで、本市観光客の増加を図る事業
	●相良三十三観音周辺環境整備事業	赤池観音・永田観音・三日原観音など相良三十三観音の駐車場整備により、観音めぐりや観光客の利便性の向上を図る事業
	●石野公園施設整備及び活性化事業	石野公園の魅力を再発見し、必要な人的・物的な投資や支援を行った上で、地域活性化の拠点とし、また魅力ある観光地としての整備を進めることで、本市経済を推進する事業
	●外部団体との連携事業	第三セクターであるくま川下り(株)の経営安定化を図り、(社)人吉温泉観光協会の組織強化と真の自立を目指すことで本市観光地基盤整備を推進する事業
着地型広域観光の推進	●イベント企画・運営事業	各種イベントを企画・実施することにより、人吉観光のPRと観光交流人口の増加を推進する事業
	●観光情報発信事業	各種メディアを活用し、人吉の情報を発信することで、人吉の知名度の上昇と観光交流人口の増加を推進する事業
	●観光関連協議会との広域観光活性化事業	県内外の観光関係団体と連携し、各団体の活動趣旨に応じて観光宣伝や研修等を行う事業

- ・相良三十三観音…相良家 700 年の歴史が凝縮された貴重な文化遺産の数々。人吉市と球磨郡に 35 の札所があり、人吉市内だけでも一番札所の清水観音、二番札所の中尾観音など、12 カ所が点在する
- ・着地型広域観光…地域に根ざした観光業者ならではの観光の情報や知識、人のつながりを活かして企画する観光戦略

(7) 地域資源の活用と推進

現状と課題

人々の価値観が多様化している現在、人生に潤いをもたらすものとして文化活動に対する関心が一層高まっています。

そのような中、本市には日本三急流の球磨川をはじめとした豊かな自然と、相良 700 年の歴史が育んだ数多くの歴史遺産が所在しています。これらの地域資源が、未来へ継承する遺産であることを市民に認識させるとともに、地域の活性化につなげる交流資源としても活用していくことが求められています。

特に、肥薩線については、開業から 100 年以上経過しているにもかかわらず、当時の姿をとどめたまま稼動している、本市の地域資源の中でもとりわけ誇るべきもののひとつです。近代化産業遺産群でもある本線は、比類なき価値を持つ鉄道遺産であり、圏域の市町村とともに世界遺産登録の推進活動を展開しているところです。

・肥薩線…JR 九州の路線(地方交通線)のひとつで、八代―隼人間の 124.2km。路線名は肥後と薩摩を結ぶところから。人吉～吉松間は列車の本数が少ないが、「日本三大車窓」のひとつに数えられる絶景区間を擁する

施策の目的

地域資源の活用については、専門職員の配置も含め、歴史遺産の調査や適切な保存・整備を計画的に行うとともに、市民に対する地域文化の理解を深めていくため、啓発活動や講座、展示など歴史遺産に対する市民への意識の向上を図っていきます。

特に、世界遺産登録を推進している肥薩線においては、より多くの市民に対して、教育・啓発等を図っていきながら、歴史遺産の保護に協力する機運を醸成することによって、地域資源を未来へ継承していくとともに、本市への誇りを持つことにつなげていきます。

さらに、地域資源を通じた情報発信と交流活動を推進することで、地域のイメージアップにつなげるとともに、人々の交流をもたらし、地域の活性化を促します。

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
歴史遺産の教育・啓発等のイベント回数	*	年5回
歴史遺産に興味のある子どもの割合 (アンケート等)	*	70%
文化財・歴史遺産を訪れた観光客の割合 (アンケート等)	*	90%

主要な事務事業	事業概要
●肥薩線を未来へつなぐ協議会推進事業	肥薩線の世界遺産登録を推進する事業及びD51 蒸気機関車復活に関する事業
●D51 蒸気機関車復活推進事業	矢岳駅に保管してあるD51 蒸気機関車の復活を推進する事業



■肥薩線を走る人気列車 いさぶろう・しんぺい号

「十年後の人吉」

岩本 優奈

十年後の人吉は、次の四つのことで有名になっていると思います。

一、人吉の商店街は『歩行者天国』になっていて、たくさんのお店があると思います。

二、人吉の青井神社は、世界じゅうに広まって有名になっていると思います。

三、温泉は、今よりたくさんふえて、気持ちのいい温泉になっていると思います。

四、SLは、日本のどこでも行けるようになっていていると思います。

そして、私は、今の人吉にはない、新幹線があつたらもつといいなあと思います。理由は、私は新幹線に乗ってみたいし、新幹線があつたら、便利だからです。

人吉には、有名な人がいます。たとえば、日本で初飛行した、日野熊蔵さんや、音楽家の大童球溪先生や、今でも活やくされているお笑いの内村光良さんがいます。十年後の人吉は、もっと有名な人が出てくるかもしれません。

人吉には、いろいろな食べ物があります。たとえば、あゆや、つぼん汁、近くの村には、くりや梨、いちごなどおいしいものがたくさんあります。十年後には、私たちも二十才になっているので、球磨焼酎のおいしさも分かるかもしれません。

いつまでも、人吉が自然豊かで、たくさんの人に愛される町になってほしいです。